

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

事業所名: 夢門塾ゆうゆう浅口

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	2	1		利用人数が多い日には狭く感じる。
	②	職員の配置は適切である			3	正社員が1名欠員のまま運営している。利用者支援の時間帯はパートタイムの職員がいるため問題ないが環境整備・送迎等、正社員の欠員による影響あり。
	③	衛生面の管理が行き届いている	3			営業日は必ず清掃・消毒を実施している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	3			引継ぎノート・朝ミーティング・月ミーティング等の利用にて適宜参画。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	3			昨年度より実施している。
	⑥	自己評価の結果を公開している	3			昨年度より実施している。
	⑦	職員の資質向上のため、研修の機会を確保している	3			外部研修・内部研修共に参加している。外部研修については参加者が不参加者にフィードバックしている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	3			岡山エリア共通のシートの活用も開始している。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	3			正職員のみならず、パートタイム職員を含む事業所全職員でチーム力の向上を目指している。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	3			改善策は常時検討している。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	3			
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	3			利用者特性・対人関係の相性に対応した日課・活動・外出先・配車等を検討している。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3			正社員は毎朝のミーティングで打ち合わせ実施。パートタイム職員には出勤時に口頭、引継ぎノートで伝達している。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	3			当日中に記録をとり、特記事項については翌日、出勤職員全員に伝達している。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	3			
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	3				

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3			利用開始前に、送迎職員の写真入り書類(送迎対応職員、利用日、利用車両のナンバー・車種)を持参し打ち合わせを実施している。連絡調整は必要に応じて実施。また、利用者の支援のための学校・相談支援事業所・病院・放課後等デイサービス等の職員によるケース会議への参加の機会もある。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との情報共有と相互理解に努めている		3		児童発達支援事業所との連携はあるが、保育園・幼稚園・認定子ども園との連携はない。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している			3	1名の卒業利用者が就労継続支援事業B型へ移行したが、情報提供の機会はない。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3			相談支援専門員との連携・助言を受けることはできており、提供される研修も受講している。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	3			
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	3			契約時に実施している。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	3			随時、対応している。電話・来所による面談等、保護者の要望に応じた形式をとっている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している		3		夏休み期間に保護者参加型のオープン事業所を実施。期間も1週間を設定したがフルタイム勤務の保護者が多く参加率は低い結果となっている。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3			苦情対応の準備はしているが、苦情は発生しておらず。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	3			夢だよりの発行、ブログの更新等による発信を継続している。
	㉗	個人情報に十分注意している	3			
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	3			
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	3			昨年度に引き続き秋祭りの際は地域の千歳楽を夢門塾に招いている。また、その際の休憩スペース・子供会児童へのトイレの提供の打ち合わせ等もしている。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防犯、感染症マニュアルを策定し、周知している	3		
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	3			西日本豪雨の発生により近隣でも道路冠水が発生したため、夏休み期間に複数回、水害対応の避難訓練を実施している。(公用車に乗車し、冠水危険のない道路を走行して浸水被害見込みのない避難場所まで移動)
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3			職員全員で虐待防止研修に参加した。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	3			契約時に身体拘束の必要性がある場合についての説明をしているが、開業以来、身体拘束の必要なケースは発生していない。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	2	1		与薬表の持参なしで薬のみ持参する保護者あり。再度、周知徹底の必要あり。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	3			該当ケースは対応者が記入している。